

令和5年第2回 府中市地域公共交通協議会会議録（要旨）

日時 令和5年11月28日（火） 午前10時～午前11時05分

場所 府中駅北第二庁舎3階会議室

出席者

委員 委員出席者12名、代理出席者3名、会場出席者15名

区分	委員名	出席	備考
学識経験を有する者	もりもと あきのり 森本 章倫		オンライン
	おかむら としゆき 岡村 敏之		
公共交通事業を行う者 又は公共交通関係団体の構成員	くらしな だいち 倉科 大地		
	にぎりさわ ままし 濁澤 雅		
	いわさわ たかあき 岩澤 貴顕		
	そうだ しゅんすけ 早田 俊介		代理 安井氏
	ふるや ひろぶみ 古谷 弘文		
	いしかわ まさみ 石川 正己		
	ひらの けいいち 平野 景一		
関係行政機関の職員	かまづか としみつ 鎌塚 俊充		代理 関口氏
	すずき あつし 鈴木 淳		代理 染谷氏
	たけやま のぶゆき 武山 信幸		オンライン
	いぬたけ みきと 犬竹 幹人		
	なかはら つよし 中原 幹		
福祉関係団体の推薦する者	こまち しのぶ 小町 篠		
	のだ かずひこ 野田 和彦		
	かわい あや 河井 文		
公募による市民	きたむら のぞみ 北村 のぞみ		
	はやしだ あゆみ 林田 あゆみ		
府中市の職員	まつむら ひでゆき 松村 秀行		
合計		12	

事務局 4名

松本計画課交通企画担当主幹、山下部計画課交通企画担当主査、
小野崎計画課主任、荒井計画課事務職員

委託業者 3名

株式会社建設技術研究所

傍聴者 1名

議事次第

1 開会

2 議題

審議事項

再編検討の考え方と基幹交通軸の整理について

再編検討における課題の整理について

再編対象路線・再編対象地域の整理について

3 その他

4 閉会

会議内容

1 新任委員に委嘱状を伝達した（机上配布）

2 新任委員より挨拶があった。

3 審議事項の「再編検討の考え方と基幹交通軸の整理について」は、事務局より資料を説明し、内容について了承された。

4 審議事項の「再編検討における課題の整理について」は、事務局より資料を説明し、意見をもとに資料を一部修正するものとし、内容について了承された。

5 審議事項「再編対象路線・再編対象地域の整理について」は、事務局より資料を説明し、意見をもとに資料を一部修正するものとし内容について了承された。

6 「その他」については、事務局より、ちゅうバス20周年記念ラッピング車両について、12月20日の公開イベントを実施したのち、運行を開始する旨連絡した。

会議録

事務局

定刻でございますので、開会に先立ちまして、事務局からご連絡いたします。

本日はオンラインによる出席も可能としております。オンラインでご出席の方は、議事の進行の際は、原則としてマイクはミュートにさせていただき、ご発言の際は、手を上げるボタンを押してからご発言くださるようお願いいたします。

それでははじめに、都市整備部次長の高橋が公務により欠席となりますので、都市整備部計画課交通企画担当主幹の松本よりご挨拶申し上げます。

事務局（交通企画担当主幹）

委員の皆様、こんにちは。交通企画担当主幹の松本でございます。本日はお忙しいなかお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、地域公共交通ネットワーク再編計画の策定に向けて、委員の皆様より貴重なご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

それでは、本日の資料の確認をお願いします。

（資料確認）

事務局

続きまして、業務担当の変更や人事異動により、一部の委員に変更がありましたので、お手元の委員名簿をご覧ください。新たに、東京ハイヤー・タクシー協会三多摩支部から京王自動車株式会社の石井(いしい)様について、10月23日付で、警視庁府中警察署の中原(なかはら)様について、11月28日付で、委員として委嘱をさせていただきました。それでは、新たに委員となられた石井様、中原様から自己紹介をお願いいたします。

（新任委員自己紹介）

事務局

なお、本日は、地域公共交通ネットワーク再編に係る委託事業者の(株)建設技術研究所のスタッフも本会議に同席させていただきますので、ご了承願います。

また、議事録作成のため、本会議の録音や記録用の写真撮影をさせていただきますので、併せてご了承願います。

以降の議事進行につきましては、会長の森本委員が本日オンラインでのご出席となりますので、副会長の岡村委員にお願いしたいと思います。それでは、岡村副会長よろしくお願いたします。

副会長

ただいまから、令和5年度第2回 府中市地域公共交通協議会を、開会いたします。

まず、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

(濁澤委員、犬竹委員、北村委員、林田委員、松村委員の欠席並びに、早田委員の代理として京王電鉄バス株式会社の安井氏、鎌塚委員の代理として国土交通省関東運輸局東京運輸支局の関口氏、鈴木委員の代理として国土交通省関東運輸局東京運輸支局の染谷氏が出席する旨及び、森本委員、武山委員がオンラインで出席する旨報告)

副会長

つづきまして、傍聴者の有無について報告します。

(傍聴希望者が1名いることを報告)

副会長

傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

(傍聴者入室)

副会長

それでは、事前にお配りした次第に従いまして議事を進めます。

次第2「議題」について、審議事項の「再編検討の考え方と基幹交通軸の整理について」、事務局よりお願いします。

事務局

(資料1に基づき説明)

副会長

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

委員代理

2ページ目、基幹交通軸として整理されている路線は、当社の事業継続の観点からも重要な路線であり、これらの路線の維持がバス事業の維持にもつながると考えています。路線バスの7割が赤字路線であり、3割の黒字路線、高速バス、貸切バスで支えている状況です。乗務員をはじめとする交通資源が限られているなかで、支えている側の黒字路線を痛めてしまうと、結果的に支えられている赤字路線を維持できなくなることになります。このため、事業継続に向けた効率化は、赤字路線をターゲットに実施する必要があると考えています。

委員

2ページ目の下段の地図、のところに「地区内交通拠点」としてオレンジ色の丸がありますが、何を意味しているのでしょうか。

事務局

オレンジ色の丸については、本日資料を差し替えさせていただいており、正しくは「主要拠点」です。そのうえで、府中の森公園などの周辺に位置し、都市計画マスタープラン等に掲げている拠点を示しています。

副会長

ほかにご質問やご意見等はないでしょうか。記載の鉄道及び運行本数の多い路線バスについて、基幹交通軸であると位置づけることになります。審議事項について了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

副会長

つづいて、「審議事項」の「再編検討における課題の整理について」です。事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料2に基づき説明)

委員

11ページのバス運転手数の将来動向について、現況ですでに9%の乗務員不足となっており、さらに令和6年に7%、令和11年に14%の不足が見込まれ、合計21%の不足となっていますが、9%が足されて30%の不足ということではないのでしょうか。

事務局

当該箇所では、令和6年の改善基準告示に対応するための7%不足と、令和11年段階の運転手の不足をあわせて、合計21%のみの整理となっています。

委員

現況に対しての不足ではなくて、令和6年度の基準に対しての不足ということでしょうか。

事務局

ちゅうバスに関して整理する前提で、現状の不足はしていないことから、現状の不足分9%を算入せず、21%としております。

副会長

資料の赤と黄色の矢印の分を足していることですね。白(現状の不足分)を足すという考えもあり得るかと思いますが、考え方次第ですのでご検討ください。

副会長

5ページの長大・収支課題について、ちゅうバス各ルートの所要時間が記載されていますが、北山町循環の時刻表を見ると往復で約50分なのですが、資料では25分となっているのはなぜでしょうか。

また、収支率を求める際の根拠が参考資料2の1ページ目にありますが、ルートごとの運行経費・収入の算出にあたって、経費が台数に応じて比例配分されているのは分かるものの、多くのルートで補助額が2,921万円で一定となっているのは違和感があります。算出方法があれば教えてください。

事務局

確認し、後ほどご回答します。

委員

5ページに、ちゅうバスの各路線について、収支率60%以上の場合は一般路

線バス化を検討すると記載されていますが、他のルートについても収支率が上がった場合には路線バス化するのでしょうか。市の補助額が減少するのはよいことだと思いますが、確認です。

事務局

収支率が60%を超えると、一般路線化した場合に収支が見込める水準に近くなりますので、市としては可能な限りバス事業者にお任せし、市の補助額の軽減のほか、事業者としても採算が取れる路線を担っていただいたほうがよいと思っています。

ただし、収支率が60%を超えていれば必ず一般路線化ができるものでもないため、事業者と調整しながら決定したいと考えています。

委員

7ページについて、移動ニーズODの整理と書かれていますが、ODとはなにか分からず検索したところ、始点終点のことだと出てきました。交通事業に関わっていない方もご覧になるかと思しますので、一言注釈を加えていただけるとありがたいです。

また、2ページの重複課題一覧の、路線バスとちゅうバスの重複について、重複課題のなかでも、重複する路線バスの運行時間帯が限られている箇所があります。多くは優先度が低い重複箇所となっていますが、ちゅうバスの導入目的が交通不便地域の解消と交通弱者の移動手段の確保であったことを踏まえて、路線バスが走っていない時間帯の移動手段のことを考えると、重複路線だと言い切ってよいのか、再編対象路線の検討にあたって留意が必要だと感じました。

事務局

ODに関してはご指摘のとおりですので、他の箇所を含めて、専門用語には注釈をつけるなどなるべく分かりやすいようにしたいと思います。

重複課題について、ご指摘のとおり、単純な停留所の位置関係だけでなく、運行時間帯の問題もあります。重複している路線を必ず効率化するというわけではなく、路線バスとして運行すべきか、ちゅうバスとして運行すべきかを含めて検討し、単純に一方を削る再編にならないよう検討したいと考えています。

副会長

乗務員不足の課題について、審議事項 そのものが課題の整理となっており、これに対してどう対応すべきかはまだ決定されているわけではありません。再編方針1～10はこれらの資料を踏まえて作ったわけではありませんが、乗務

員不足が新聞報道等で一般にも知られてきたなかで、今回改めて課題として出てきました。再編方針1～10に加えるわけではないものの、乗務員不足を踏まえたとえで再編の検討をせざるを得ないと思います。資料にも将来的にはちゅうバスが4台程度稼働できなくなる可能性がある」と記載されており、必ず4台減らすわけではないものの、少なくとも台数を増やす再編はあり得ないということだと理解しています。

副会長

先ほどの収支課題のバックデータについてはいかがでしょうか。

事務局

路線別の実績がないため、車両台数の比率で按分しています。

副会長

そうだと思うのですが、今回の収支課題の内容としては、一般路線化の検討対象となるかなど、数ポイントの差でも結果が変わってきます。大まかな試算としてはこれでよいですが、所要時間に対する台数などは記載の内容で問題ないでしょうか。

委員

よつや苑西ルートと北山町循環は交互に走っており、合計7台、押立町ルートと朝日町ルートも交互に走っており、合計6台です。また、土曜・日曜はよつや苑と北山町循環が別々に運行していますので、よつや苑西ルートが4台、北山町循環が3台で運行しています。

副会長

台数によって結果は大きく変わってきますので、なるべく実質に近い数値になるよう精査をお願いします。

課題が大きく変わることはないと思いますので、数値の精査はしていただきつつ、審議事項 については了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

副会長

つづいて、「審議事項」の 「再編対象路線・再編対象地域の整理について」です。事務局より説明をお願いします

事務局

(資料3に基づき説明)

副会長

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

副会長

審議事項 までで課題がすべて洗い出されたため、再編方針とあわせて、具体的な再編案の検討をしていくということかと思いますが、ここまでの資料で現れていない課題は今後も検討対象としないのか、課題はほかにもあるものの、現状を一つ一つ積み上げた結果の資料として捉えるのか、どちらでしょうか。

事務局

これまで出てきた課題は、7月に策定した地域公共交通計画において課題として整理し、地域公共交通ネットワーク再編により解決することとされているものです。一方で、需給課題のように、計画策定段階で大きく議論していなかった課題や、改めて顕在化してきた課題もありますので、今回資料の課題をメインとして検討しつつ、その他の課題についても適宜検討する必要があると考えています。

副会長

計画策定段階の検討で、乗降客のカウントなどにより、ちゅうバスの利用者が極端に少ない区間がある程度明らかになりましたが、今回の資料では、移動が不便な地域や重複箇所がどこかという整理になっており、利用状況は入っていません。利用者が少ない区間は課題としてはすでに整理されているということであればよいのですが、収支率の目標もあるなかで、再編検討では利用状況も重視せざるを得ないため、確認でした。

委員

参考資料3の移動ニーズ課題バックデータについて、1枚目に赤、緑、青の矢印が記載された図がありますが、矢印の数値は市民アンケート調査の結果から得られた人数ということでしょうか。また、移動ニーズの定量的・定性的な部分について、事務局ではどのようにお考えでしょうか。

事務局

例えば中央エリアですと、左上の図の中に、赤線が日用品の買い物、青線が日用品以外の買い物、緑線が通院となっており、併記された数値については、印のとおりアンケート調査結果で得られた行先別の人数となっています。また、カッコ内にも記載がありますが、3人未満のODは非表示としています。

これをもとに、次ページ下段の表で移動ニーズ課題を把握するにあたり、アンケート結果としてODがある箇所について、対応する交通手段があるか否か整理しました。

このため、太い線かどうか、人数が多いかどうかという意味で定量的な影響はない整理となっています。

委員

アンケートの回答総数が1500件近くあるなかで、移動ニーズの回答が1桁台や2桁台の回答ですが、資料3の課題にどのように反映されたのかが気になりました。

事務局

アンケート調査の回答数は市内全域で整理されていますので、数字としては多くないものも含まれますが、線が太いものについては、調査結果として一定のニーズが確認できているものとして対応する必要があると考えています。

委員

6ページの東部地域について、朝日町ルートに関して周辺路線バスとの重複解消と記載されていますが、同ルートは路線延長が長く、多磨駅と武蔵野台駅間の往復のほか、旧甲州街道を府中駅までつなぐルートとなっており、旧甲州街道を走る区間については、京王線と並行しています。利用者からすると便利ですが、持続可能性を考えると、縦のルート確保は必要ですが、横ルートについては、バスだけでなく鉄道との重複についても考える必要があると思いました。また、縦のルートについても、榊原記念病院より北側は路線バスと重複しているため、朝日町ルートについては、重複していない箇所を小さくつなぐだけでも交通不便地域の解消にはつながると思いました。

副会長

具体的な対応の検討は今後ですが、今回の審議事項は、課題の積み上げという点で重要な内容が盛り込まれていると思います。

オンラインの方からはいかがでしょうか。

会長

機器トラブルで一部聞こえなかったのと、現状も音声クリアでないため、私からは特にありませんが、皆様で議論していただいているものとして、審議内容としては了解しました。

副会長

オンラインの方については、議事録確認後でも構いませんので、コメントいただきたいと思います。

審議事項 について、了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

副会長

それでは、審議事項 ~ について了承いただきましたので、つづきまして、次第3「その他」です。

事務局より説明をお願いします。

事務局

オンラインの危機トラブル等があり大変申し訳ありませんでした。オンラインの方からのご意見については、別途照会の機会を設けたいと考えています。なお、資料の修正等もありましたので、改めて精査した内容で公開いたします。

事務局

続いてご報告です。

府中市コミュニティバス「ちゅうバス」は、平成15年12月1日の運行から今年で20周年となります。そこで、更なる利用の促進と持続可能な運行を目指し、明星学苑との協働協定に基づくSDGs普及啓発事業を活用して、明星高等学校の生徒からデザインを募集し、1台の車両に記念ラッピングを行いました。ラッピング車両は、同校において公開イベントを実施したのち運行を開始します。

本日プレスリリースを行っておりますので、参考に情報共有いたします。

副会長

この件について、ご質問等はありませんでしょうか。

ないようですので、次第3「その他」については以上とします。

副会長

それでは、本日の日程は以上でございます。

以上を持ちまして、本日の府中市地域公共交通協議会を、閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。